



日本共産党 相模原市
「地域に仕事と緑を」対策委員長

久保田 ゆうじ REPORT

2010年 9月 2日
編集／発行 No. 2
日本共産党 久保田ゆうじ
緑区(旧城山)広田15-14
Tel・Fax 783-6720
Kubota@kusanone.com

「事業仕分け」を事業仕分けしたい

7月31日～8月1日に相模原版事業仕分けが、市民会館で40事業を対象に行われました。

コーディネーター1人と仕分け人4人で構成され事業の説明を聞き、質問を行い、まとめ・判定を行い、一事業あたり所要時間は約30分間でした。

仕分け判定は、①不要 ②民間実施 ③国・県実施 ④広域実施 ⑤要改善 ⑥現行通りの6区分。

事業者側の担当者が終わってから「思ったことが言えなかった。」とつぶやいていました。

傍聴してみて、事業仕分けは本当に必要なことなのか疑問に感じました。本来、市自体のチェック機能（議会での十分な審議）を発揮することなく、「事業仕分け」によって、市当局から見て減らしたい事業をクローズアップするためのパフォーマンスでしかないような気がします。



左側は事業説明者、右側の女性がコーディネーター、他の人は仕分け人

補給廠で前回につづき、今回は100本の焼夷弾を爆破



要請文を読み上げる、久保田ゆうじさん

8月27日、相模補給廠で昨年につづき焼夷弾が100本、戦闘指揮訓練センター建設の過程で発見され爆破処理されました。

早朝より周辺市民連絡会等や心配した市民が集まり要請文を米軍に手渡し基地当局者に抗議しました。

要請内容は「①爆破処理は直ちに中止し、安全の確保された場所で行い周辺に住宅の密集した補給廠では行わない。②国と米軍が責任を持って補給廠全体の調査を行い結果を市民に知らせる。③基地の全面返還を要求する。」以上の3点です。